

2022(令和4)年

心耕

9月号

シャボン玉窓を開け流ばる声
夏も過ぎますね。

今日の行事

・十二日(月)

・常例法座

午後より

秋季被選会

22. 23. 24日

「おじゆく歩き第十四回 誰でも参加できます。」

・二日間共に午後一時より

講壇は東に、講師室、住處、二層とも

・節税説教大会

八日(水)

午後一時より四時

主催・西本願寺 会場・西光寺本堂

・十八日(金)全般説教会

コロナ禍のため

従前の お慶き	20日 10時 午前	9日(金) 午後1時 の 勉強会	7日(水) 午後6時 12日(日) 午後10時 前
御朝	8日 午前 御加勢	18日 午前 御領	

道場・講義のいの細かい、かわいい
シフォン法師、出口が見えていた。

とは云っても彼女は、もう一歩二
山にはあるのだから。10歳と
海で行方を隠していく。

御丈前に、五十年代・六十年代・七十
代・八十代とそれぞれの運営一人の自
らの死について綴られた物がある。

具体的であるので年を経るごとに、老
いしてく程に死=净土往生につれて
の上への思いが深くじに響く。

「死んだらどうなる」。不審に
不安げに問う幼い子に、「何をじ
配はいらぬ」。極楽に参加させて
頂く。阿弥陀さまが全部、國の

つて下さっている。その様な意味
のことを、自分が心地悪で話すこと
が出来ないとなはってこと頼しい。

毎日御朝 おきて読み、またお聞き下さい。
おあいだで、手元の教えつけでござります。

おへりの意象の然活。ナハヤマナマリ
の意象の然活。ナハヤマナマリ

手を合わせ

仏さまを拝むとき

私のツノを

知らされる

波北 彰真

まだ元気で達者な小笠原義宣師の案内だった。

浅原才市さんは若い頃は九州まで稼ぎに行つたが、
三十四半ばからは下駄職人として働き、ひよいと思

い浮かんだ言葉を下駄づくりの鉋くずに書き、湯につ
かつた後、夜、小学生用のノートに清書した。それが

世間に知られるようになり、生ける妙好人とまで言わ
れるようになつた。

山陰・島根県の石見・温泉津町は字のように、温泉が

出る港町です。宿に泊ると朝食にイカそうめんが出ます。朝、港に上がつたイカが綺麗に料られてでてくるのです。ホッペが落ちるとはこういうことだと知られる美味しさです。

この町の西楽寺に、江戸時代末期から昭和の初めまで八十三年の生涯を生きられた、妙好人・浅原才市さんの記念碑があり遺品の数々が展示されている。

と喜んだという。

西光寺のお同行一行と訪ねたのはもう二十年以上も前。

ものです。

ナンマンダブナマンダブ

今月の言葉は、この才市さんの話をもとに書かれた

脚下照顧



「何でカブトムシ死んでいたの？」
「生まれてきたからさ」

最近転ぶようになったということはありませんか。そのような方は、大いにして自分の歩くイメージと実際の足の動きが一致していないことが多いのです。思つてみると足が上がっていないので、上を見て歩くのではなく足元を見て歩きましょう。

今回紹介の脚下照顧は、足元を見よという意味で用いられます。禅宗のお寺にお参りをしますと玄関などでは「脚下照顧」と書いた紙が貼っています。足元を見て、履物をそろえることを示唆しています。そこから、発展し、自分の姿を明らかに見ることができる第一歩だと教えます。

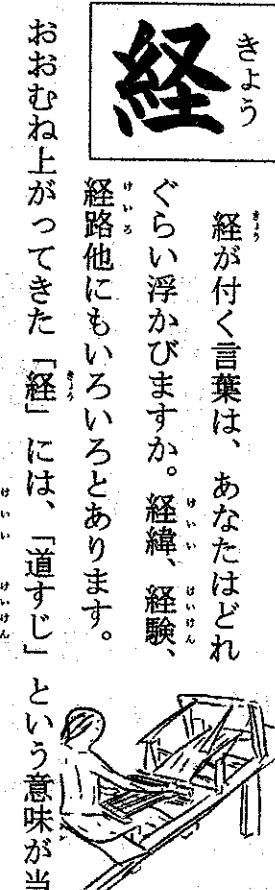
又、足元を見よという意味は、自分の足元を顕かに見よという事です。他人をとやかくいいがちな私です。他人の事はよく見えるのに自分はよく見えていないのです。「あの人老けたわね」と言う自分も同じだけ年を取っているのです。なかなか自分はそうは思はないのです。自己を問うのが仏教です。

佛教用語を紹介していきます。

こんなところに 用語

経

経が付く言葉は、あなたはどちらに浮かびますか。経緯、経験、



おおむね上がってきた「経」には、「道すじ」という意味が当たるのではないでしようか。経緯や経験はこれまで道すじのことであり、経路は目的地までの道すじであります。

語源は、古代インドのスートラです。経糸という意味があります。機織りを想像してください。まず、経糸を引いてから横糸を通しています。経糸がしっかりとしてこそ、横糸を通し編むことができるのです。そこから発展して、教えるの要を短くまとめたものを「スートラ」と古代インドで表すようになります。

した。

お釈迦様がおられた頃も、口伝するわち言葉で教えを伝えていました。ところが、お釈迦様が入滅されてから問題が起きました。お釈迦様は、相手に合わせて多種多様に伝え方を変えられました。教えを受けた人々はそれぞれ言われ方が違つたのです。齟齬が生じたのです。そこで幾度も会議がなされ、お釈迦様の言葉を確認し合い、文字として書き残すようになりました。これが現在我々が読むことができる「経」の原点なのです。

『大經』七

「みな普賢大士の徳に遵へり」です。この「みな」とは、前に出てきた菩薩たちを指すのか、それともその前に出てきた声聞衆を含めているのか判然としないところです。大經では

「皆」となり並んでいる姿で前の菩薩たちを言いますが、

『如來会』では「咸」となって全ての集まりを言います。私としては大經を読まれた諸師方や現在読んでいこうとする我々凡夫も含まれている咸と思うところです。さて普賢大

士とは文殊菩薩と共に釈迦如來の脇侍として有名であります。釈迦の左に普賢、右に文殊となります。阿弥陀如來は觀音菩薩と勢至菩薩です。因みに日本では左大臣が政治経済、右大臣が軍事を司ります。『華嚴經』では善財童子の遍歴修行の最後の五十五番目が普賢菩薩であります。『法華經』等にも登場しますが、大日如來の所では金剛薩埵という名で活躍しています。

普賢の徳とは慈悲のことです。利他行です。お淨土からこの娑婆に菩薩として戻つて来られた方です。大經の二十二願に「普賢の徳を修習せん」とあります。これを還相回向の願と言います。親鸞聖人は觀經の惡逆のアジャセや提婆達多を含め登場人物を還相の菩薩と讀えております。私

も身の回りの人は全て還相の菩薩と思っていますが、時には腹の立つこともあります。親鸞聖人も善鸞をはじめ干部誦誦の自分にも腹が立つたことあります。人間親鸞を島思ふとき俺も同じだという御同朋の気がいたします。

普賢を代表とする菩薩の一生を釈迦の行実に準えて語られます。兜率天から母胎に降り、右より生れ七歩歩いて、唯我獨尊と発言、武術や芸術などに通じ、老病死を見て無常を覚る。國と財を捨て、六年の苦行を無駄だと判じ、沐浴して樹下に座り悟入す。魔を退け転法輪を請ず。遊歩して法薬をもつて人々を拯濟こと極まりなし。これを八相化儀と言います。八つの形で手本を示すの意味です。

この後は菩薩を育てていきます。仏道の教えを徹底的に学び、禪定と智慧を得て深く法藏に入る。如來の甚深の法藏を受持し、大悲を起して自己の如く衆生を哀れむ。このように諸仏の無量の功德を受ける菩薩は数え切れない。

大經は初めに私たちが仏道を聴聞し学び菩薩として生きることを望んでいます。親鸞聖人は「小慈小悲もないけれども」と言われていますが、普賢の徳をもつて多くの人々を教化したことは事実です。凡夫を菩薩として育てるために大經 자체が還相回向をしているのです。

法座案内

各種案内

心耕(月刊西光寺新聞)発送作業をお手伝いいただける方を募集します。

形態…三ヶ月に一度 主に月初めの平日時間…10時～12時 特製ランチ付♪

八日(木)十三時～十六時

節談説教布教大会

節を付け心に響く節談説教を四名で実演します。参加の方はお寺に予約を

十二日(日)十三時～十五時

はじめの一歩 第十回

浄土真宗を一から学ぶ会です。今は正信偈を少しずつ読んでいます。初めてでもぜひご参加ください

二十二・二十三・二十四日

秋季彼岸会

(三日間ともに十三時～

彼の岸、極楽浄土を思わさせていただく時間、いのちを考える時間、阿弥陀如来のすくいを考える時間、それが彼岸会です。

* 感染症予防にご協力を

仏具をきれいにします。簡単な作業です。

二十日(火)十～十二時 弁当付

お朝事

毎朝六時半～七時、お勤めをしています。日々のお参り、命日などにお参り下さい。

草取り

十八日(日)八～九時 是非お手伝いを!

写経会

九日 十三時～十五時 どなたでも♪

・壮年会・婦人会主催の勉強会

壮年会 七日 十八時～十月は五日
婦人会 十二日 十時～十二時

・門信徒会費 口座振込先

振込番号です ゆうちょ銀行

西光寺門信徒会 00180-0-713424
会費 年間一万一千円

・おみがき

YOUTUBEの西光寺チャンネルにて「お釈迦様が悪口を言われた時〇〇な対応をなされた経」の動画を配信

西光寺チャンネルで検索か、
以下QRで

・感染症対策について

37.5℃以上の発熱、咳が出る方はお参りをお控え下さい。マスク着用、消毒にご協力下さい。法座等の集まる行事では、念の為、氏名を記入頂く場合があります。

・お彼岸家庭参り

家庭参りご希望の方は、お寺まで連絡をしてください。

住職多感

七月八日、西光寺の阿弥陀如来を彫つてくれた仏師、吉本政之氏の葬儀が始まる直前、元総理大臣・安倍晋三氏が、自作の散弾銃を持つ若者によって射殺された。

若者が統一教会の関係者だとわかると、それまで蓋をされていた臭いものが一斉に飛び出した。

安倍元総理の祖父・岸信介元総理以来の清話会を中心とする自民党と統一教会との関係。統一教会のプロバガンダと洗脳による日本にだけ生じている靈感商法や多額の寄付。拉致に等しい韓国での合同結婚式等々。

マスコミがまともであれば当の昔に暴かれていたものが、三十年もの間ほとんど報道されて来なかつた。それが噴出して混乱の中に催される国葬。ことが明らかになれば国葬どころではないことを知つてのことだ。その国葬がまた混乱に拍車をかける。かけたと

ころで原発。ウクライナ戦争によるエネルギー

危機と気候危機に煽られて、新しい技術を取り込んだ新しい原発の製作。組織維持のために、組織の危機に際しては、問題の焦点をはぐらかすために、様々な問題を生み出し、この難局を乗り切るにはこの組織でないとダメでしようと思わせていく。手あかのついた古い政治手法がそのまま使われている。

情けない限りだがこの先どう転ぶかは誰にもわからない。

貪欲・瞋怒・愚痴（欲と怒りと愚かさ）に覆われた凡夫であるがゆえに、先を見通せない不安の中に普段の暮らしを送らねばならない。このことは昔も今も変わらない。仏法に歩むべき道を知られた人たちは、そんなに欲張らず・一步引いて考えてみれば・ちよ

・ 京参り（令・仏奉仕団） 千葉市
・ 二十三日（月）睡法座 午後一時より
・ 二四日（火）睡法座 午後一時より
・ 京参り（令・仏奉仕団） 千葉市
三日 ～ 五日
＊コロナ禍で参加者が限られる為
今日は往参のみの参かざす。

十月の行事

発行

西光寺

「子供会・懇親会・草刈りなどは毎月
あります。御辰朝もいつもどおりです。
手と口を使なづこなづこのがうちな
ない。」

浄土真宗 本願寺派(西) 〒二九〇一〇〇二四
TEL. 0436-22-7412
FAX. 0436-24-1652
HP. <https://www.saikohji.net>
MAIL saikohji@hb.tpl.jp